

- 問1 北海道には「稚内（わっかない）」や「室蘭（むろらん）」など、特徴的な響きを持つ地名が多く存在します。これらの地名は、北海道やその周辺諸島に古くから住み、独自の言語や文化を築いてきた先住民の言葉に由来しています。この人々の名称として正しいものを選びなさい。
(2016年 群馬県公立入試 類似)
1. 防人 2. えみし 3. 屯田兵 4. アイヌ
- 問2 北海道のある都市の気候統計において、年平均気温が約8.9度、年降水量が約1106.5mmであり、特に12月や1月の降水量が比較的多いというデータが見られました。この都市が位置する場所として最も適切な条件はどれですか。
(2018年 長野県公立入試 類似)
1. 北海道の東側に位置し、親潮（寒流）の影響を強く受ける地域 2. オホーツク海に面し、冬には流水が押し寄せる地域 3. 北海道の西側に位置し、日本海の影響を受ける地域 4. 北海道の中央部に位置し、海から離れた盆地状の地域
- 問3 北海道北端の稚内付近における、夏季の日照時間と周辺の海流の特徴について述べた文として、最も適切なものはどれですか。なお、この地域では5月から6月にかけて日照時間がピークを迎え、全体として夏季の日照時間が長くなる傾向があります。
(2021年 兵庫県公立入試 類似)
1. 高緯度に位置するため夏季の昼の時間が長く、日本海沿岸を北上する対馬海流が地域の気候に影響を与えている。 2. 寒流である千島海流（親潮）の影響で夏季に大規模な濃霧が発生するため、高緯度であっても日照時間は極めて短くなる。 3. 低緯度に位置するため太陽の高度が常に高く、太平洋沿岸を北上する日本海流（黒潮）が湿った空気を運んでいる。 4. 季節風を遮る高い山脈の影響でフェーン現象が発生しやすく、暖流のリマン海流の影響で夏季は乾燥した晴天が続く。
- 問4 北海道東部に突き出した半島に位置し、海と陸のつながりによる独特の生態系が評価され、2005年にユネスコの世界遺産（自然遺産）に登録された場所はどこですか。
(2021年 千葉県公立入試 類似)
1. 屋久島 2. 知床 3. 白神山地 4. 小笠原諸島
- 問5 ニセコ町や倶知安町では、特定の時期に急増する外国人観光客の利便性を高めるため、駅から目的地までの移動手段である「二次交通」の整備などに官民が連携して取り組んでいます。持続可能な観光地づくりの先進事例として注目されているこの取り組みを何と呼びますか。
(2025年 群馬県公立入試 類似)
1. コンパクトシティ 2. エコツーリズム 3. 地産地消運動 4. ニセコモデル
- 問6 北海道の東部、釧路から中標津にかけて広がる、数十キロにわたって牧草地や牧場が続く大規模な農業地域を何といいますか。
(2016年 群馬県公立入試 類似)
1. 十勝平野 2. 石狩平野 3. 上川盆地 4. 根釧台地
- 問7 北海道東部の太平洋側において、夏に発生する濃霧がもたらす低温や日照不足といった気候条件に適応するために、この地域で古くから発展してきた農業の特徴はどれですか。
(2024年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 冷涼な気候でも育つ牧草を利用し、乳牛を育てる大規模な酪農を行う。 2. 温暖な気候が必要な米の品種改良を進め、広大な平野で二毛作を行う。 3. 夏の涼しさを利用して、東京などの大消費地向けにレタスなどの高原野菜を栽培する。 4. 山地を切り開いて段々畑を作り、水はけを良くして果樹栽培を行う。
- 問8 北海道の農業経営が、他の都府県と比較して「大規模農業」と呼ばれている理由として、その特徴を適切に説明しているものはどれですか。
(2016年 愛媛県公立入試 類似)
1. 温暖な気候を利用して、同じ土地で年に2回作物を栽培する二毛作を徹底している 2. 都市近郊の立地を活かして、狭い土地で付加価値の高い野菜を生産する園芸農業が中心である 3. 山がちな地形を活かし、小規模な土地に多くの労働力を投入する集約的な農業を行っている 4. 大型の農業機械を導入することで、農業就業者一人あたりの耕地面積を広げている
- 問9 世界自然遺産にも登録されている鹿児島県の屋久島では、樹齢1000年を超える屋久杉などの貴重な生態系を維持するため、エコツーリズムの考え方が取り入れられています。この取り組みにおいて、観光地が果たすべき役割として最も適切な説明はどれですか。
(2022年 沖縄県公立入試 類似)
1. 自然環境を維持するために、観光客の立ち入りを一切禁止し、人の影響を完全に排除する。 2. 木道などを整備して観光客が自然を体験できる場を提供しつつ、環境への負荷を最小限に抑える。 3. 大型の宿泊施設や道路を整備し、一度にできるだけ多くの観光客を呼び込むことを最優先する。 4. 地域の景観をより華やかにするため、もともとその土地になかった外来種の植物を植えて整備する。
- 問10 札幌などの北海道西部に位置する都市では、冬の降水量（雪）が他の地域に比べて多くなる傾向があります。このような気候の特徴が生じる主な理由として最も適切な説明はどれですか。
(2018年 長野県公立入試 類似)
1. リマン海流（寒流）の影響で冷やされた空気が、太平洋からの湿った風とぶつかるため 2. オホーツク海高気圧から吹き出す冷たく湿った北東風が、山脈を越えて流れ込むため 3. 対馬海流（暖流）の上を通る湿った空気が、北西の季節風によって運ばれてくるため 4. 小笠原気団の発達により、南からの温かく湿った空気が年間を通じて供給されるため
- 問11 北海道は日本最大の米の栽培面積を誇りますが、各都道府県の全耕作面積に占める米の割合を示した統計では、東北地方の多くの県よりも低い数値となっています。このような数値が示される理由として、北海道の農業の特色を踏まえた適切な説明はどれですか。
(2023年 福島県公立入試 類似)
1. 東北地方に比べて一戸あたりの経営面積が小さく、米の栽培に特化した効率的な農業が困難なため 2. 大規模な土地利用は行われているものの、農地の大部分が住宅地や工業団地へ転用されているため 3. 冷涼な気候の影響で米の栽培が制限されており、米の生産量が日本で最も少ないため 4. 小麦やてんさい、酪農などの米以外の作物の生産も盛んであり、農業の多様性が高いため
- 問12 日本の都道府県別の農業産出額において、品目別の割合を示した統計資料のうち、畜産の割合が約52.5%と過半数を占め、一方で米の割合が約12.2%にとどまっているという特徴を持つ都道府県はどこですか。
(2016年 岩手県公立入試 類似)
1. 北海道 2. 新潟県 3. 千葉県 4. 宮崎県
- 問13 北海道の道庁所在地である札幌周辺の地理的特徴と、地名の由来について述べた文として、最も適切なものはどれか。
(2021年 熊本県公立入試 類似)
1. 広大な泥炭地が広がる石狩平野の沿岸部に位置し、地名は本州から移り住んだ開拓使の言葉に由来する。 2. 十勝川の流域に広がる十勝平野に位置し、地名は江戸時代の松前藩の役職名に由来する。 3. 石狩川や豊平川の堆積作用によって形成された石狩平野に位置し、地名は先住民族であるアイヌの言葉に由来する。 4. 大規模な火山灰地が広がる根釧台地に位置し、地名は明治時代に移り住んだ屯田兵の出身地に由来する。

答え合わせ・解説

問1	答え 4 アイヌ	北海道の地名の多くは、先住民であるアイヌの人々が使用していた「アイヌ語」に由来しています。例えば「稚内」はアイヌ語で「冷たい水の出る川」を意味する言葉が語源となっており、自然の地形や特徴を反映した地名が各地に残されています。屯田兵は明治時代に北海道の開拓と北方の警備を兼ねて全国から送り込まれた兵士を指すため、先住民とは異なります。
問2	答え 3 北海道の西側に位置し、日本海の影響を受ける地域	北海道の日本海側に位置する都市（札幌など）は、対馬海流（暖流）の影響を受けるため、冬に北西の季節風によってもたらされる雪の影響で、12月や1月の降水量が多くなります。年平均気温が9度前後、降水量が1100mm程度という数値は、北海道の中でも比較的温暖で、冬の降雪が顕著な西岸地域の典型的な特徴を示しています。
問3	答え 1 高緯度に位置するため夏季の昼の時間が長く、日本海沿岸を北上する対馬海流が地域の気候に影響を与えている。	北半球では高緯度になるほど、夏季における昼の時間が長くなるという天文学的な特徴があります。そのため、北海道北端の地域では、本州以南と比較して夏季の日照時間が長くなりやすい条件にあります。また、北海道の西側の日本海沿岸には、暖流である対馬海流が北上しており、これが周辺の気候に影響を及ぼしています。太平洋側に夏に濃霧を発生させ、日照時間を減少させる要因となるのは寒流の千島海流（親潮）であり、日本海側の特徴とは異なります。
問4	答え 2 知床	北海道東部にある知床半島は、冬に流れ着く流氷がもたらすプランクトンを起点として、魚類、鳥類、そしてヒグマなどの大型哺乳類までが密接に関わる豊かな生態系を持っています。この貴重な自然環境が認められ、日本では3番目の世界自然遺産として登録されました。
問5	答え 4 ニセコモデル	急激な観光需要の増加に対し、行政と民間事業者が協力して、バス路線の拡充や多言語対応、決済システムの導入などを進める仕組みを指します。インフラ整備やサービス向上を一体となって進めることで、観光客の満足度を高め、地域経済を活性化させる手法として全国から注目されています。
問6	答え 4 根釧台地	釧路と根室の間に広がるこの地域は、火山灰土が分布していることや、夏の気温が上がりにくい気候特性から、耕作よりも家畜の飼料となる牧草の生育に適しています。そのため、広大な土地を利用した大規模な酪農が発達しました。十勝平野は畑作、石狩平野や上川盆地は稲作が盛んな地域であり、それぞれ農業の特色が異なります。
問7	答え 1 冷涼な気候でも育つ牧草を利用し、乳牛を育てる大規模な酪農を行う。	道東の太平洋側では、夏の濃霧による日照不足や低温（冷害）の影響で稲作が困難でした。そのため、冷涼な気候でも育つ牧草を栽培し、それを飼料として牛を育てる酪農が発展しました。特に根釧台地などは、日本を代表する酪農地帯として知られています。
問8	答え 4 大型の農業機械を導入することで、農業就業者一人あたりの耕地面積を広げている	平坦で広大な土地を活かし、トラクターなどの大型機械を効果的に導入することで、少人数で広大な面積を管理する仕組みが整っています。これにより、一人あたりの生産性が高まり、米の生産量においても国内有数の割合を占めるに至っています。他の選択肢にある二毛作は主に温暖な地域、集約的農業や園芸農業は都市近郊や限られた土地を活用する地域で見られる特徴です。
問9	答え 2 木道などを整備して観光客が自然を体験できる場を提供しつつ、環境への負荷を最小限に抑える。	エコツーリズムは、自然を完全に隔離して守るのではなく、適切にルールを設けて活用しながら保全することを目指しています。屋久島や知床では、観察用のデッキや木道を設けることで、観光客が貴重な植物を直接踏みつけることを防ぎ、生態系を壊さずにその魅力を体験できるようにしています。
問10	答え 3 対馬海流（暖流）の上を通る湿った空気が、北西の季節風によって運ばれてくるため	日本海側を流れる対馬海流は暖流であり、冬でも海水の温度が比較的高い状態にあります。この海上で発生した水蒸気を、大陸から吹き付ける冷たい北西の季節風が取り込み、北海道西側の山地にぶつかることによって雪として降らせます。このため、日本海側に面した地域では冬の降水量が多くなる特徴が見られます。
問11	答え 4 小麦やてんさい、酪農などの米以外の作物の生産も盛んであり、農業の多様性が高いため	北海道は、一戸あたりの経営面積が大きく、大規模な機械化農業が行われているのが特徴です。米の栽培面積そのものは日本最大級ですが、それ以上に、冷涼な気候を活かした小麦、大豆、てんさい、じゃがいもなどの畑作や、広大な土地を利用した酪農も非常に大規模に展開されています。そのため、農業全体で見ると「米以外の作物」の占める割合が大きく、米の単作傾向が強い東北地方の各県に比べて、全耕作面積に対する米の比率は相対的に低くなります。このように、多様な作物を組み合わせた大規模な農業経営が行われていることが北海道の大きな特色です。
問12	答え 1 北海道	広大な土地を活かした大規模な農業が展開されており、特に十勝平野や根釧台地などを中心に乳牛や肉用牛の飼育が盛んです。そのため、農業産出額の構成では畜産が5割を超えるという、他県にはあまり見られない独特の構成比を示しています。米どころとして知られる新潟県などとは対照的な構成です。
問13	答え 3 石狩川や豊平川の堆積作用によって形成された石狩平野に位置し、地名は先住民族であるアイヌの言葉に由来する。	札幌の市街地は、石狩川の支流である豊平川などが運んだ土砂が積もってきた石狩平野に位置しています。北海道にはアイヌ語を由来とする地名が多く、札幌（サッ・ポロ・ベツ）もその一つです。根釧台地は大規模な酪農、十勝平野は畑作が盛んな地域であり、札幌の位置する地形とは異なります。